

受付番号： 2018-1-164

課題名：高齢者食道癌根治的放射線治療の有効性に関する多施設調査研究(JROSG)

1. 研究の対象

2004年1月～2014年12月に当院で根治的放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、80歳を超える食道癌患者への根治的放射線治療の本邦の現状を明らかにし、その有効性や毒性を示すことです。

参加施設で80歳以上の食道癌症例に対し、2004～2014年に根治的放射線治療が実施された症例の診療記録から調査票に回答してもらい、各施設で匿名化されたデータを中央集計し解析します。

研究期間は2016年7月から2018年12月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、治療効果、等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は多施設共同研究ですが、当施設へデータは集積していますので、当施設で治療を受けられた方の情報が外部へ提供されることはありません。

5. 研究組織

実施責任者 東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野

教授 神宮啓一

研究分担者 東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野

助教 山本貴也

大阪大学放射線腫瘍学講座 教授 小川和彦

近畿大学放射線医学教室 教授 西村恭昌

山形大学放射線腫瘍学分野 教授 根本建二

東京都立駒込病院放射線診療科部長 唐澤克之

名古屋大学病院放射線科特任教授 伊藤善之

国立がんセンター中央病院放射線治療医長 伊藤芳紀

広島大学放射線腫瘍学分野 講師 村上祐司
埼玉医科大学放射線腫瘍科 教授 高橋健夫
その他、JROSG 参加施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究代表者および責任者：東北大学大学院医学系研究科 放射線腫瘍学分野

教授 神宮啓一

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1, TEL: 022-717-7312

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合